

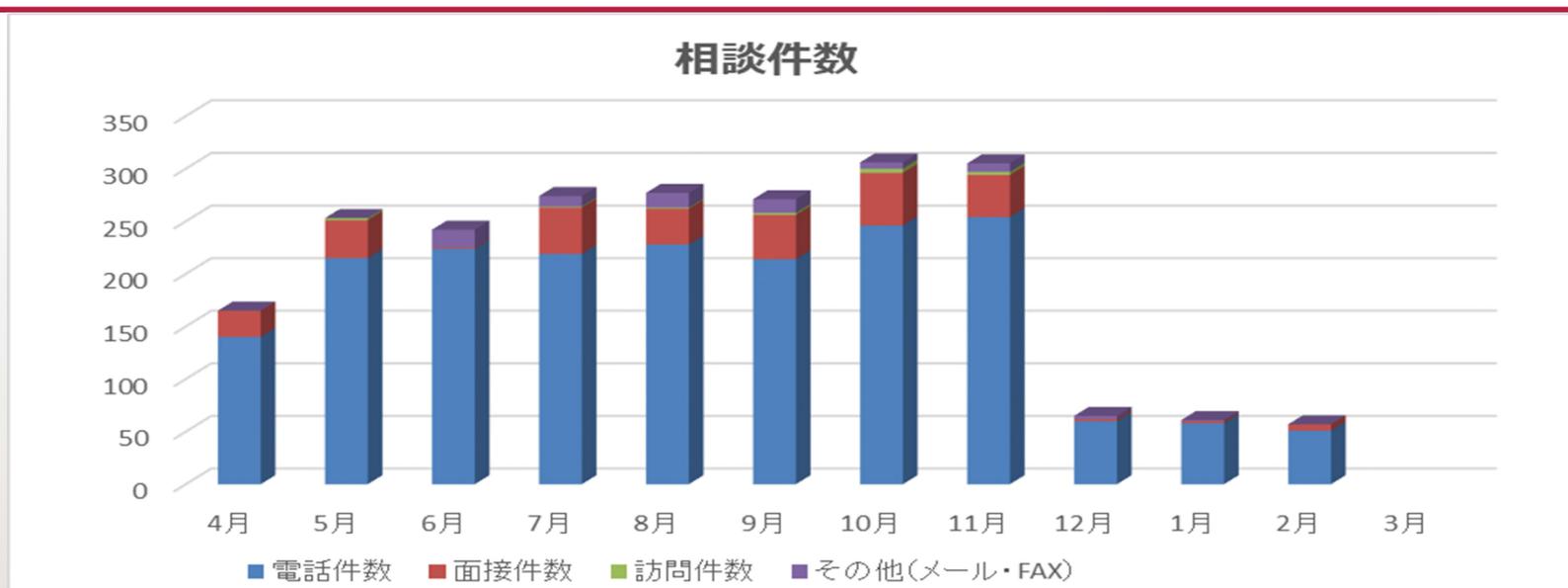
令和2年度 認知症疾患連携協議会

医療法人寿鶴会 菅野病院
認知症疾患医療センター事業報告

令和3年3月22日

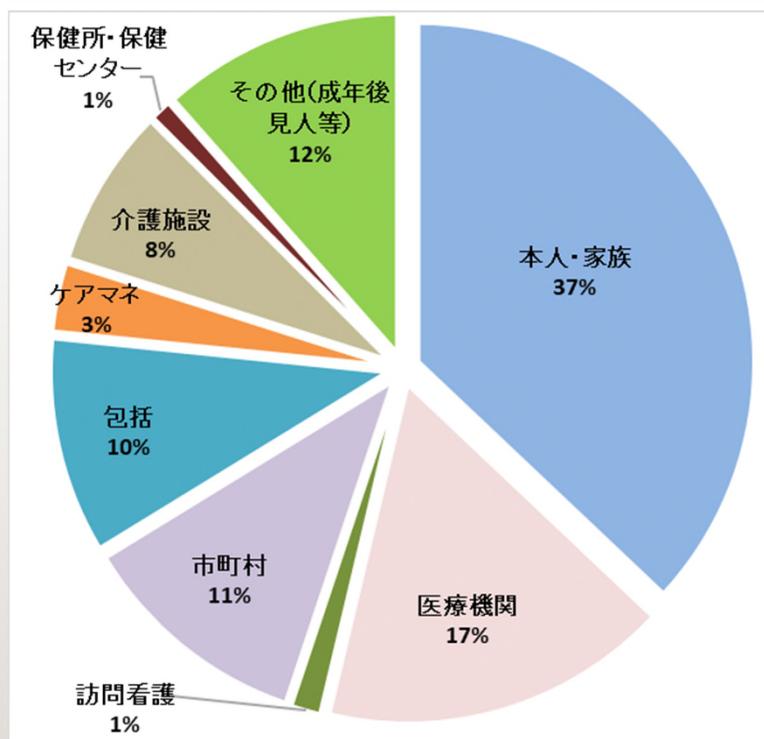
医療法人寿鶴会 菅野病院

相談件数



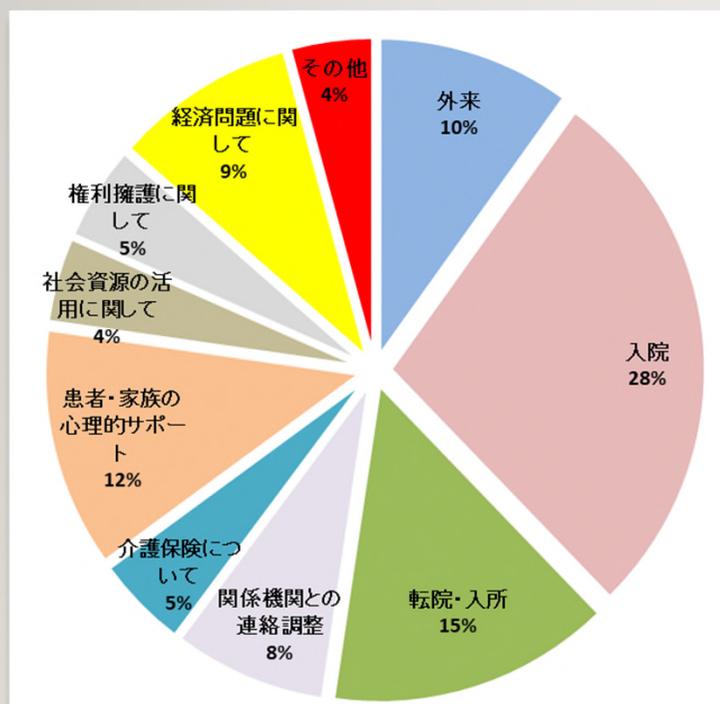
- 最も多い月が254件、最も少ない月が51件。
- R2.12月～R3.2月は緊急事態宣言や当院での新型コロナウイルス院内感染の影響により、電話相談や面接件数が大きく減少した。

相談元内訳



- 相談元として本人・ご家族が最も多く全体の4割程度を占めている。（後見人等も含めると約50%）
- ご家族からは、予約を目的とした電話だけではなく、遠方の親御さんについての相談等もあり。
- 市町村や包括支援センターからは外来予約について、医療機関や介護施設からは入院についての相談が多い。

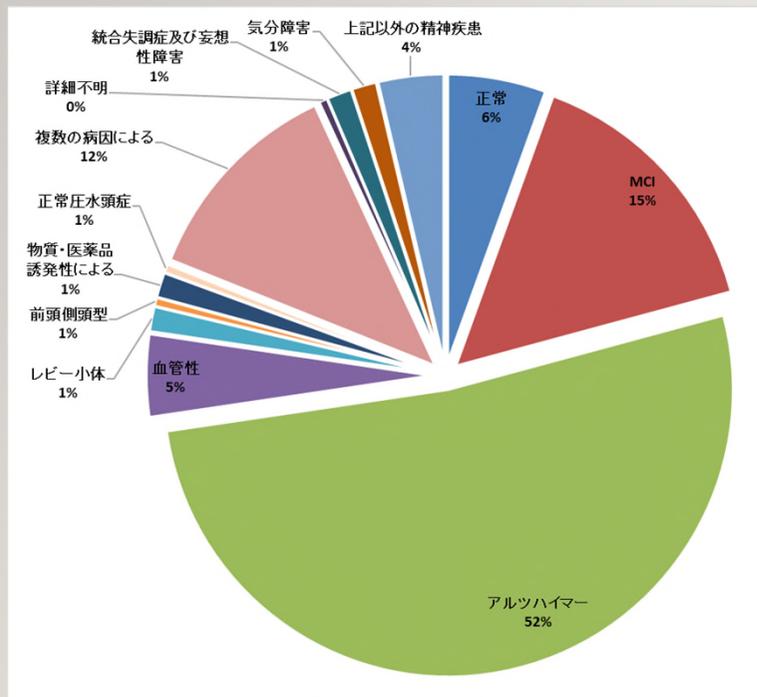
相談内容内訳



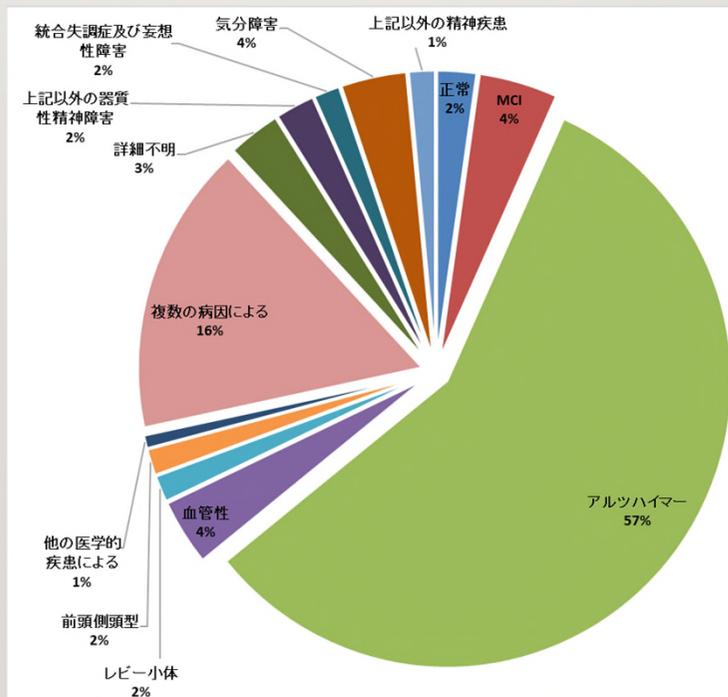
- 緊急事態宣言の影響により、（他医療機関や施設への）転院・入所に関する連絡は例年に比べ少なかった。
- 認知症に関する入院相談については、身体合併症を伴う内容が多い。
- 権利擁護（成年後見制度等）に関する問い合わせは年々増えてきている印象。

鑑別診断内容内訳

令和元年



令和2年



- 全体の約6割がアルツハイマー型認知症。
- 令和元年度と2年度で、診断結果の割合に大きな相違は見られなかった。
- MCIが減少している点については、これまで少しのきっかけで受診に繋がっていたケースでも、コロナ禍による受診控えがあったのではないかと推察される。

来年度に向けて

- 今年度は新型コロナウイルス感染症の院内感染によりご心配をお掛け致しました。
- 皆様をお招きしての連携協議会の開催が出来ずとても残念です。

新型コロナウイルス感染症の影響は当面続くものと思われませんが、ネット環境を活用するなどして情報発信やご意見の収集が変わりなくできるよう工夫して参ります。ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

- 皆様におかれましても感染症対策にお疲れの事とお察しします。何卒ご自愛下さいますようお願い申し上げます。